



MacBook Pro 13インチ Function Keys 2017 下部ケースの交換

非Touch Bar MacBook Pro (2017, 2つのThunderbolt 3 ポート)の下部ケースを取り出します。

作成者: Tarun Thiruma



はじめに

この作業は、MacBookProの修理のを行う出発点です。下部ケースを取り外してデバイス内部にアクセスするには、P5ペンタローブドライバーが必要です。

安全のため、この手順を開始する前にMacBookProのバッテリーを放電してください。充電されたリチウムイオン電池は、誤って穴を開けた場合、危険で制御不能な火災を引き起こす可能性があります。



ツール:

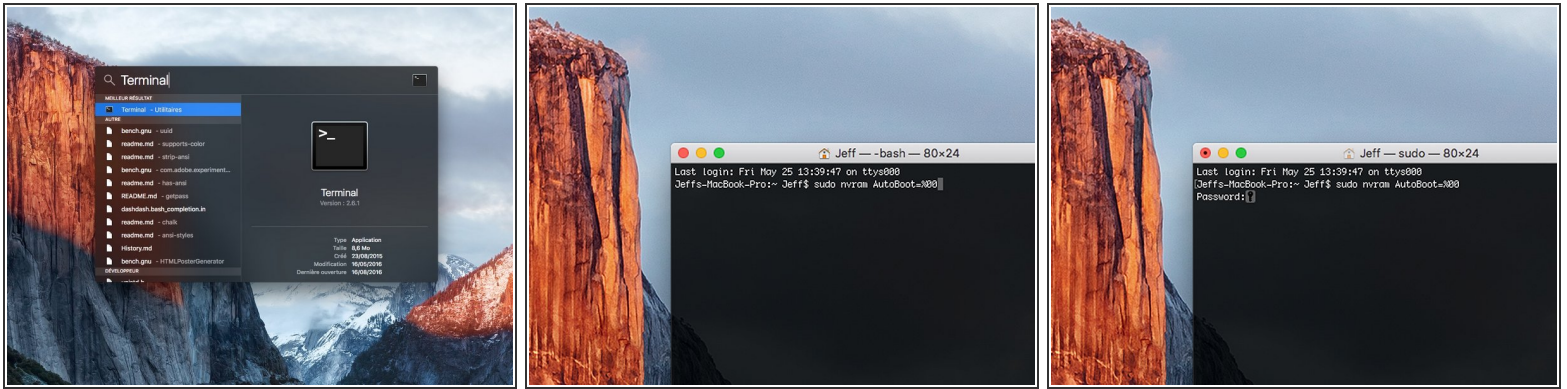
- P5 ペンタローブネジ用ドライバー (Retina MacBook Pro/Air用) (1)
- ハンドル付き吸盤 (1)
- iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)



部品:

- MacBook Pro 13" Retina (Function Keys Late 2016 2017) 底部ケースのネジセット (1)
- MacBook Pro Retina (Late 2016 to Mid 2017) プラスチック製フットパッド (1)

手順 1 — Auto Bootを無効化する



i この手順を開始する前に、Macの自動起動機能を無効にする必要があります。蓋を開くと、Macの自動起動によって分解中に誤って起動される場合があります。[この手順に従う](#)か、以下の簡略化された指示に従って自動起動を無効にします。このコマンドは全てのMacに応答するわけではありません。

- Macを起動し、ターミナルを開きます。
- 以下のコマンドをターミナルにコピー(または正確にタイプ)します。
 - **sudo nvram AutoBoot=%00**
- **[return]**キーを押します。パスワードを求められたら、管理者パスワードを入力し、**[return]**キーを再度押します。補足: **[return]**キーは **↵** や **"enter"** として印字されている場合もあります。

i これで、誤って電源が入ることなく、安全にMacの電源を切り、底面カバーを開くことができます。

★ 修理が完了し、完全に組み上げられた際には、以下のコマンドで再度自動起動を有効化してください。

- **sudo nvram AutoBoot=%03**

手順 2 — 底面カバー



 MacBook Proの電源を完全に切って、接続を外します。ディスプレイを閉じて、柔かい表面上にラップトップを裏返して載せます。

- P5ペンタローブドライバーを使って、下部ケースを固定している次の6本のネジを外します。

- 6.2 mm ネジ—2本

- 5.3 mmネジ—2本

- 3.4 mmネジ—2本

 この作業では、各ネジの装着位置を書き留めておきましょう。デバイスのダメージを防ぐため、組み立ての際は、本来の位置に取り付けてください。

手順 3



- 吸盤ハンドルを両ネジ穴の間の下部ケースのフロント側中央端付近に装着します。
- 吸盤ハンドルを引き上げて、下部ケースの下に小さな隙間を作ります。

手順 4



- 筐体と下部ケースの下に出来た開口ピックの先端を隙間に差し込みます。
- 開口ピックを一番近い角の周辺までスライドしてから、MacBook Pro側面の半分上まで移動します。
- ① 下部ケースを固定している隠れたクリップの一番目を外します。クリップがカチッと音がして外れる感覚があります。

手順 5



- 反対側も同じ作業を繰り返します。開口ピックをした部ケースの下に差込み、2番目のクリップを外します。

手順 6



- 開口ピックを底部ケースの2本の中央ネジ穴の1つの付近にある、正面側端の下に再び差し込みます。
- ピックをしっかりと持って捻り、筐体と底部ケースを固定している3番目のクリップを外します。
- この手順を中央ネジ穴のもう一方の付近でも繰り返して、4番目のクリップも外します。

手順 7



- 底部ケースをMacBookの正面側に向けて引き抜きます。(ヒンジのエリアを外します) 底部ケースを固定している最後のクリップを解放します。

① 1つのコーナーをまず外してから、反対側のコーナーを外してください。

⚠ この作業ではかなりの力が必要です。

手順 8



- 底部ケースを取り出します。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？ [ベーシックなトラブルシューティング](#)のページを参照するか、[このモデルのアンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。